URAWA SPORTS CLUB

浦和SCニュース
Vol.194

発行：2017.3.31　NPO法人浦和SC事務局
mail：info@urawasc.org
http://www.urawasc.org/
tel：048-887-7140　fax:048-679-1063

■卒園・卒業　おめでとう！■

## 少年団は何歳まで参加できるでしょうか？

### ■ 卒園・卒業おめでとう！

クラブには引退はないのだけれど、どうしてもこの時期は進学、進級、そして就職など、社会的に立場が変わる時期なので、これまでと同じようにクラブを続けられない仲間が出てきてしまいます。

特に、大人よりも子どもたち。サッカー広場には、幼稚園の時から８年間参加してくれた子もいました。

皆さん、それぞれ次のステージでも、スポーツに関わっていってもらえたらいいなと思います。

そして、浦スポでは、できるだけいろいろな年代でスポーツをし続けることができるように、場をつくってきました。例えばサッカーでは、広場・スクール・ユース・生涯・スーパーシニア・年齢に関係ない星空と、５歳～80歳を超える仲間が毎週１～２回、活動しています。

もし次のステージ（学校や職場）で、好きなスポーツをする場がなかったりしたら、ぜひクラブに戻ってきてください。一緒にスポーツを続けましょう。

浦スポは、グラスルーツ宣言で、「引退なし」「補欠なし」「誰でも参加」を理念に活動を続けていきます。

### ■ 少年団って何歳まで対象か知っていますか？

さて、この時期は少年団の卒団式も各地で行われていますね。でも、ここで問題です！

少年団の対象年齢はいくつまででしょうか？

何歳まで少年団にいていいのでしょうか？

ご存知の方も少なくないかもしれませんが、いろいろ調べてみると、少年団の対象は未成年＝20歳未満であればよいようです。

### ■ 少年団制度設計当初は中学生を想定！

日体協の出版するスポーツ少年団のガイドブックには、「スポーツ少年団に当たる年齢は、大体 12 才から 15 才までの男女中学生を主な対象に考えています。そしてこれらの少年と一緒に活動できる少年なら、10 才、11 才の小学生 5、6 年生や、16 才から 18 才の高等学校生徒等を加えてもかまいません」との説明があります。

そして「小学校の卒業を契機に単位団活動をやめてしまう団員が多いのが現状ですが、スポーツ少年団では中・高校生が地域で活動することも前提としています」と記載があり、「中・高校生が単位団活動に参加できるよう、小学校卒業と同時に行われている事例が多い「卒団式」「退団式」は、やめたいものです。」とも書かれています。

### ■ 少年団は地域社会で子どもを育てる仕組み

そもそも日本のスポーツ少年団は、前回の東京オリンピック（1964）開催を前に制度化されたもので、その組織づくりは、ドイツのスポーツユーゲントやスポーツクラブを参考にして進められたものです。地域社会全体で子どもたちを育てることを狙いとして、スポーツ少年団の活動拠点は地域社会の中におかれ、社会教育の一環として取り組むこととなったそうです。

### ■ 2020年を前に、改めて仕組みを考えよう

生活スタイルの多様化、少子化、教職員の過重労働の顕在化など、子どもたちを取り巻く社会環境は大きく変化してきています。このような中で、好きなスポーツを続けられる、続けやすい環境をどうつくっていくか、関係者と一緒に取り組んでいきたいと思います。

特に、心身の発達の著しい中３の夏からの９か月間、スポーツをしないでいるのは、競技者の育成といった点からも非常にもったいない話ですし、受験勉強の中で心身のリフレッシュを図るという意味でも、「引退」＝スポーツを中断もしくはやめてしまうようなことにならないようにしていきたいと思います

## 再掲！　スポーツ用品リユースプロジェクト

前号でもお知らせしましたが、クラブでスポーツ用品を集め、ミャンマーのドリームトレインという養護院（国際医療ボランティアとして有名なジャパンハートが運営）をとおして、ミャンマー国内で適切に配布していただくことになりました。

■収集期間：２０１７年３月１０日～４月２５日

■収集方法：袋等にいれて事務所にお持ちいただくか、コーチにお預けください。無記名で結構です！＾＾！

■対象品：スポーツウェア・シューズ全般、サッカー用品（スパイク、トレーニングシューズ、すねあて、ボール等）、テニス用品（ラケット他）

■注意事項：着衣は洗濯後のもの、シューズ等についても泥などの付着の無い状態にしてください）。譲り受けた方が気持ちよく使えるよう配慮ください。

**プロジェクトメンバー募集！**

スポーツ用品のリユースプロジェクトメンバーを募集します。
おいしいお茶とお菓子を食べながら仕分けや手配などを一緒に行ったり、今後の活動企画を考えたりと、楽しく活動していければと思います。
　環境問題や海外支援などに関心をお持ちの方、ぜひご参加ください！
　参加希望者は事務局までご連絡を！

## 活動紹介

### ■テニス交流会

少し風がありましたが好天に恵まれた3月20日（祝）、駒場体育館テニスコートにおいて、午前中は親子、午後は大人の交流大会を開催しました。

いつもの固定のメンバーの活動と違い、いろいろな方とチームを組みながら、皆さん楽しく過ごせたようです。新たな交流を広げていくことができるのもスポーツの魅力ですね！

### ■ボーダーフリーサッカーにも参加

大原の障がい者交流センターを拠点に活動されるＣＰサッカー（脳性麻痺）のASユナイテッド主催のボーダーフリーサッカー2017に、浦スポから４名＋ご家族２名で参加させていただきました。

ソーシャルフットボール（精神障害）の埼玉代表チームの方々なども参加され、午前中はワークショップ、午後は元アントラーズＧＫの小沢選手によるクリニックと交流ゲームと１日楽しく参加させていただきました。

一緒に何かをすることで、相手のことを理解する機会を得ることが大切なことだと改めて感じます。例えば加齢で、例えば怪我で、例えば運動音痴で、上手にプレイができないことなんてたくさんあります。一方で障がい者の方でもスーパーなプレイをする方もいます。そう考えると、一緒にスポーツを楽しむ時に、障がいの有無で壁をつくることは意味がないことだと気づきます。

もちろん、勝ち負けを争う競技の中では、ある一定の条件でカテゴリーを分けることはあります。年齢で分けるのと同じように、障がいの種類や程度で分けているだけのことで、そのカテゴリーの中で技術や体力を競い合う競技として行うこともありです。

一緒にスポーツを楽しむ時と、勝敗を求めて競い合う時の両面があるのがスポーツの良さですね。

## お知らせ！

**2017年度　年次総会**

**日時：６月４日（日）　１５時頃～**

**場所：未定（浦和駅近辺を予定）**

**総会終了後、指導者の方にもできるだけ参加いただいて交流会を開催します。**

**多くの皆さんの参加をお待ちしています**

**詳細が決まりしだいお知らせします。**

**星空スポーツ広場中学部活サポートプログラム**
**バドミントン　基礎講習会　参加者募集！**

**主に中学１年、中学校からバドミントンに本格的に取り組もうとしている方！**
**基礎を身につけて、秋から試合で活躍しょう！**

**日時：土曜日　19時半～21時　月３回開催**
**場所：浦和高校体育館**
**定員；１２名程度（先着順）**
**期間：Ⅰ期　５月～７月　　□期　８月～10月**
**費用：3,240円／期（３か月間９回分の費用です）**

**詳しくは事務所もしくは星空スポーツ広場の現地で指導者にお問合せください**